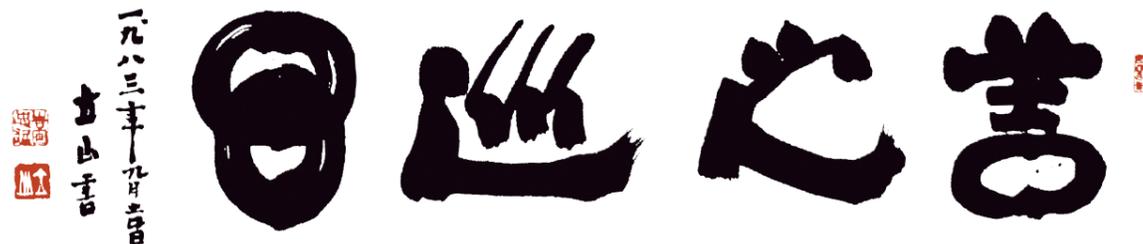


## YKKグループとYKK APの理念

YKK創業者の吉田忠雄は、「善の巡環」という精神を事業活動の基本とし、YKK二代目社長でありYKK AP創業者でもある吉田忠裕は、この精神を基に経営理念「更なるCORPORATE VALUEを求めて」を策定しました。そしてYKK APは、これらを基盤として策定した「Purpose (パーパス)」を自らの存在意義とし、今では社員の行動や経営判断の中枢に根付いています。私たちは、社名である「AP (Architectural Products)」にこだわり続けながら、社会の幸せに貢献する会社となることをめざしていきます。

## YKK創業者 吉田忠雄とYKK精神

「善の巡環」他人の利益を囚らずして自らの繁栄はない



YKK創業者  
吉田 忠雄 (1908-1993)

企業は社会の重要な構成員であり、共存してこそ存続でき、その利点を分かち合うことにより、社会からその存在価値が認められる。YKK創業者の吉田忠雄は、事業を進めるにあたり、その点について最大の関心を払い、お互いに繁栄する道を考えました。事業活動の中で発明や創意工夫をこらし、常に新しい価値を創造することによって事業の発展を図ることが、お客様、お取引先の繁栄につながり、社会貢献できると考えたのです。このような考え方を「善の巡環」と称し、常に事業活動の基本としてきました。私たちはこの考え方を受け継ぎ、YKK精神としています。

## YKKグループの経営理念

YKK精神は事業活動の礎となり、長きにわたってグループの発展を支えてきました。時代の潮流を捉えてこの精神を進化させたのが、経営理念「更なるCORPORATE VALUEを求めて」です。経営理念は企業価値を高める重要性を説いており、すべての判断基準の根底をなす「公正」を軸に、価値創造への絶え間ない努力に対する決意を表しています。

更なるCORPORATE VALUEを求めて



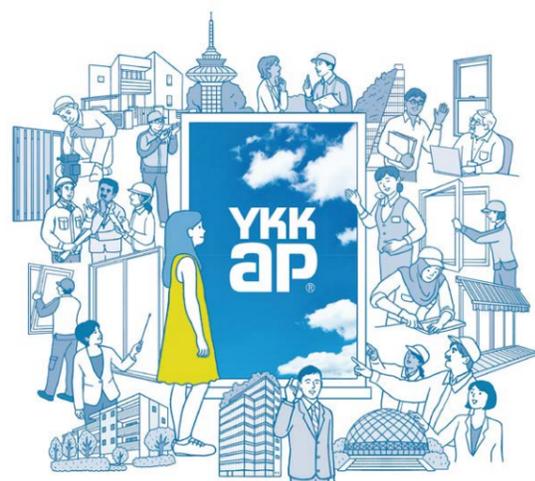
YKKは、更なるCORPORATE VALUE(企業価値)を求めて、7つの分野に新たなQUALITY(質)を追求します。

YKKグループが「善の巡環」の精神に基づく経営理念として掲げるのが「更なるCORPORATE VALUEを求めて」です。私たちはお客様に喜ばれ、社会に評価され、社員が誇りと喜びを持って働ける会社でありたいと考えています。そのための手段として、商品、技術、経営の質を高めていきます。そして、これらを実践するにあたって常に根底にあるのが「公正」であり、これをあらゆる経営活動の基盤としています。この経営理念は、1994年当時、YKKおよびYKK APの社長を務めた吉田忠裕によって策定されました。



YKK AP創業者 現 YKK・YKK AP相談役  
吉田 忠裕

## YKK APのパーパス



Architectural Productsで  
社会を幸せにする会社。  
— We Build a Better Society Through Architectural Products —

いつの時代も私たちは、建築文化の根幹にあるArt(美しさ)と  
Technology(技術力)にこだわり続けながら、  
好奇心と探求心により、価値ある建築パーツ「Architectural Products」を生み出し、  
人と自然、未来をつなぎ、幸せな社会を実現します。

YKK APのパーパスには、私たちの商品やサービスを通して社会に貢献する会社でありたいという想いが込められています。住宅やビルの構成要素である「Architectural Products(建築用工業製品)」で、お客様やお取引先の想いに応え続けること。それによって、お客様やお取引先、そして社会に貢献する会社であり続けること。「YKK AP」という社名に込めた想いを受け継ぎながら、変わりゆく社会の中で必要とされる存在であり続けたいと考えています。



## 理念浸透のための取り組み

YKK APは事業の持続的成長を支えるために、社員が日々の業務でYKK精神・経営理念・パーパスを意識して行動できる環境づくりに取り組んでいます。その一例として、各拠点・部門で自らの実践事例や思いを共有する「語らい会」があります。この会は、毎年、社員一人ひとりが自らの仕事とYKK精神・経営理念・パーパスとのつながりについて考える機会を創出することで、理念の理解と浸透を図ることを目的に推進しています。

交流や対話を通じたコミュニケーションにより、各部門や会社全体の一体感を醸成するとともに、持続的成長を支える人・風土づくりもめざしています。2024年度も、国内の約2,000の部門すべて(営業、開発、技術、製造、管理部門)で語らい会を実施しました。

### パーパス社内浸透ワーキンググループ活動

2021年のパーパス策定以降、社内浸透に向けてリーフレットや冊子などのツール配布や、座談会開催などの取り組みを推進しています。2024年度はYKK APパーパス発見活動「みんなの青い鳥プログラム」と称してさらなる浸透活動を展開。理解度を深めるeラーニングには、社員約12,000名が参加しました。eラーニングを踏まえ、各々のパーパスの実践エピソードを部署単位で共有する「語らい会」を全国で実施。各部署から代表的なエピソードを募り、集大成となる「パーパスエピソードマップ」を作成しました。このエピソードマップをもとに、部門横断型で語り合う「テーマで語らい会」も実施しており、今後もパーパスへの理解を深める施策を展開していきます。



部門横断型で社員が語り合う「テーマで語らい会」(YKK AP30ビル)



日本版



各部署から集めた代表的なエピソードとして、事例12点をまとめた「パーパスエピソードマップ」